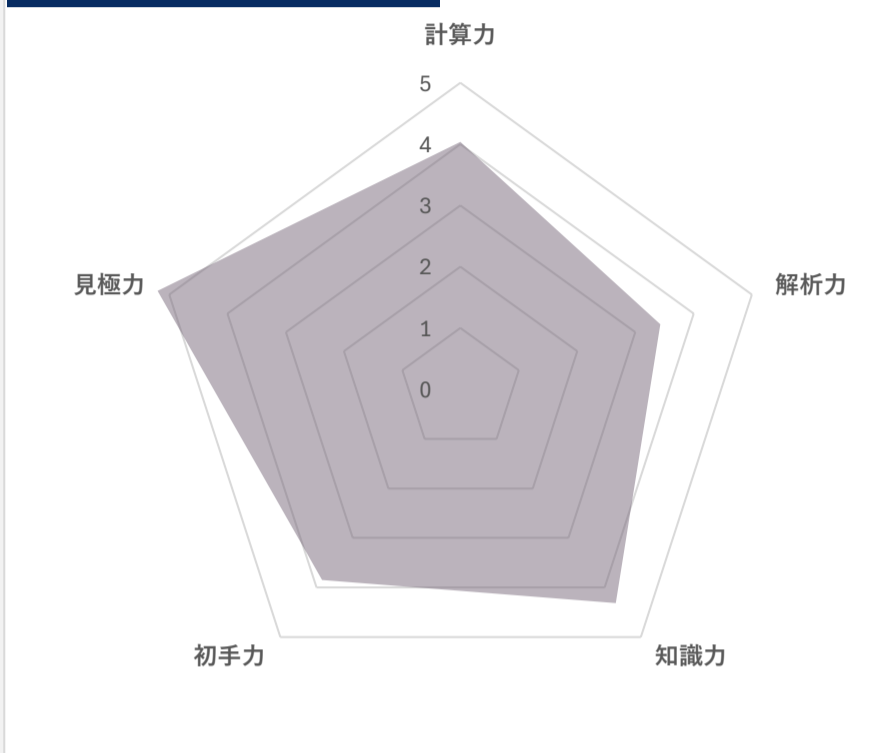


総合分析

試験区分	一般
------	----

制限時間	70分	大問数	全3問
------	-----	-----	-----

合格に要する能力（5段階）



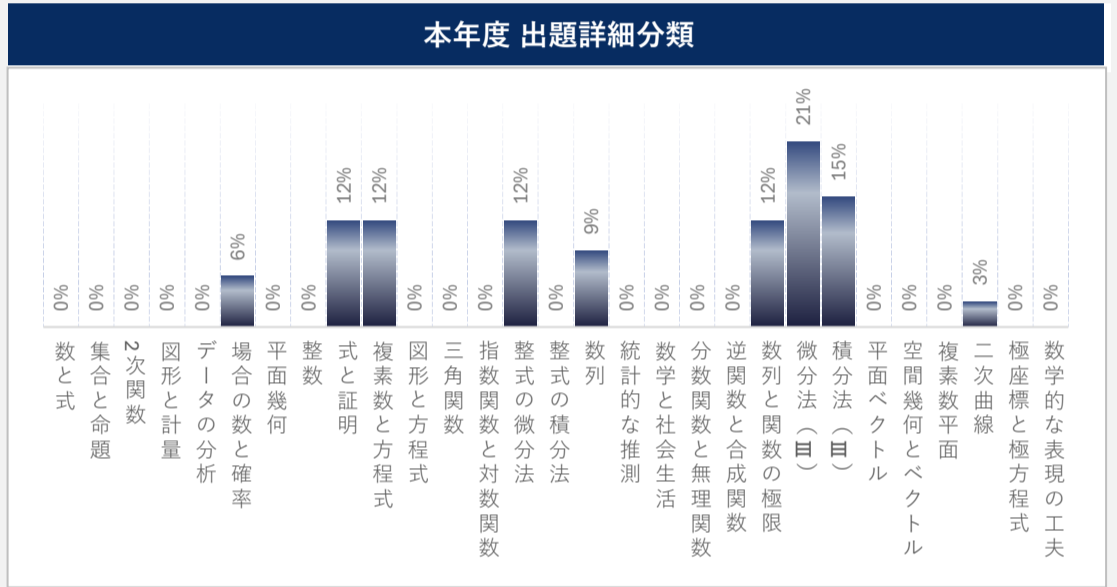
合格に要する能力（5段階）		
計算力	3.8	高度な計算をやり遂げる力
解析力	3.2	問題文を正しく読み取る力
知識力	4.1	解くことに必要な知識の量
初手力	3.7	初手の難しさ
見極力	5.0	解きやすい問題を選択する力

特記事項	特になし
------	------

出題分野	
数学Ⅰ	0%
数学A	6%
数学Ⅱ	36%
数学B	9%
数学Ⅲ	47%
数学C	3%

本年度 解答形式
マーク 100%

本年度出題テーマ一覧	
第1問	4次関数・4次方程式
第2問	微積分総合
第3問	(1)立体図形の積分(2)確率漸化式



特殊問題の有無	記述なし	証明なし
統計なし	数Ⅲあり	長文なし

総合評価			
難度	4.0	最難を5とする問題自体の難度	難しい
分量	105分	完答に要する時間（制限時間は70分）	多い
一次合格に必要な正答率（予想）			54%
正答率をさほど要さない			

入試の特徴と対策
 ▶ 代数的な問題の比重が高い。日ごろから答えを出し切る訓練が必要である。

入試から見る 大学が求める学生像
 試験時間に対し、計算量を含めた分量が多く高得点を取ることは難しい。また問題ごとの難易差が激しいことから取捨選択能力に長けた学生を求めていると考えられる。